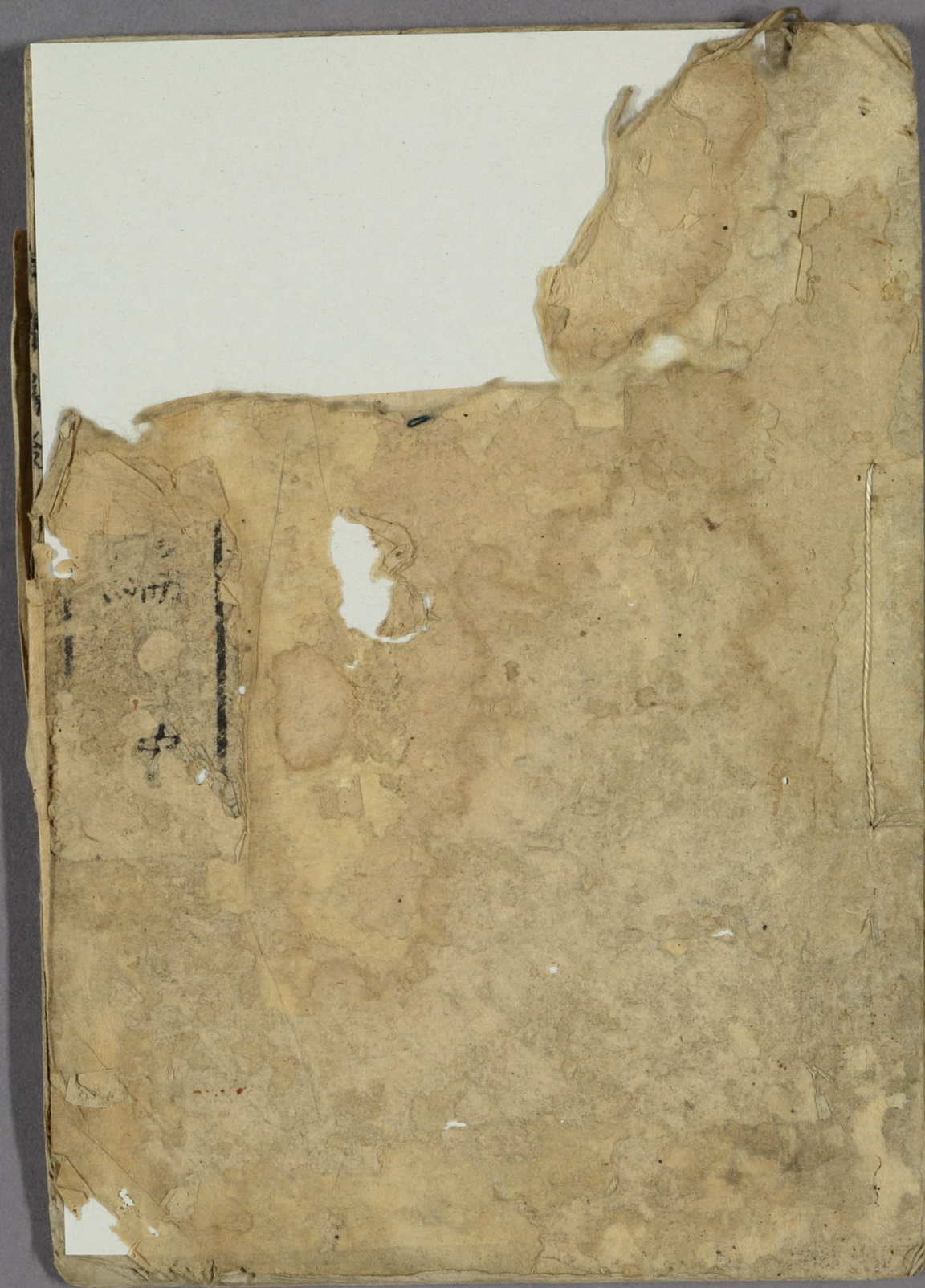


来笑菴

高橋伝貝

[illegible]仕
[illegible]
恩愛の句
[illegible]
あるしらる
[illegible]
姿あり人

十五、

[illegible]の舞を[illegible]分の内
[illegible]
[illegible]の一枝を[illegible]て
[illegible]
[illegible]歌仙[illegible]蝉の[illegible]を聴く
[illegible]
寺古し[illegible]の[illegible]火を入て
妻の[illegible]
[illegible]不足[illegible]
[illegible]
[illegible]

廿、

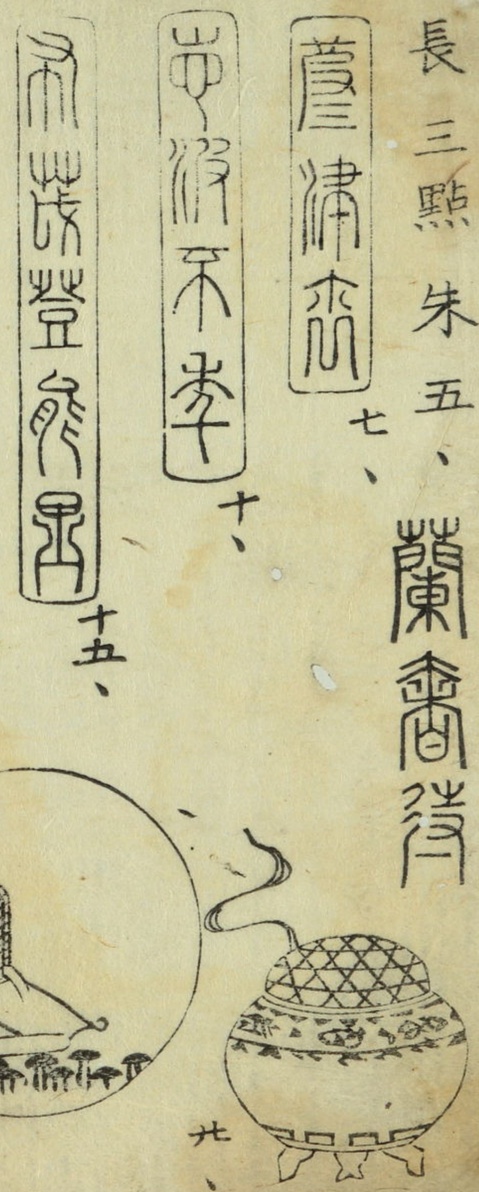
十五、

[illegible]伊達[illegible]
[illegible]の[illegible]
他人[illegible]
[illegible]
[illegible]

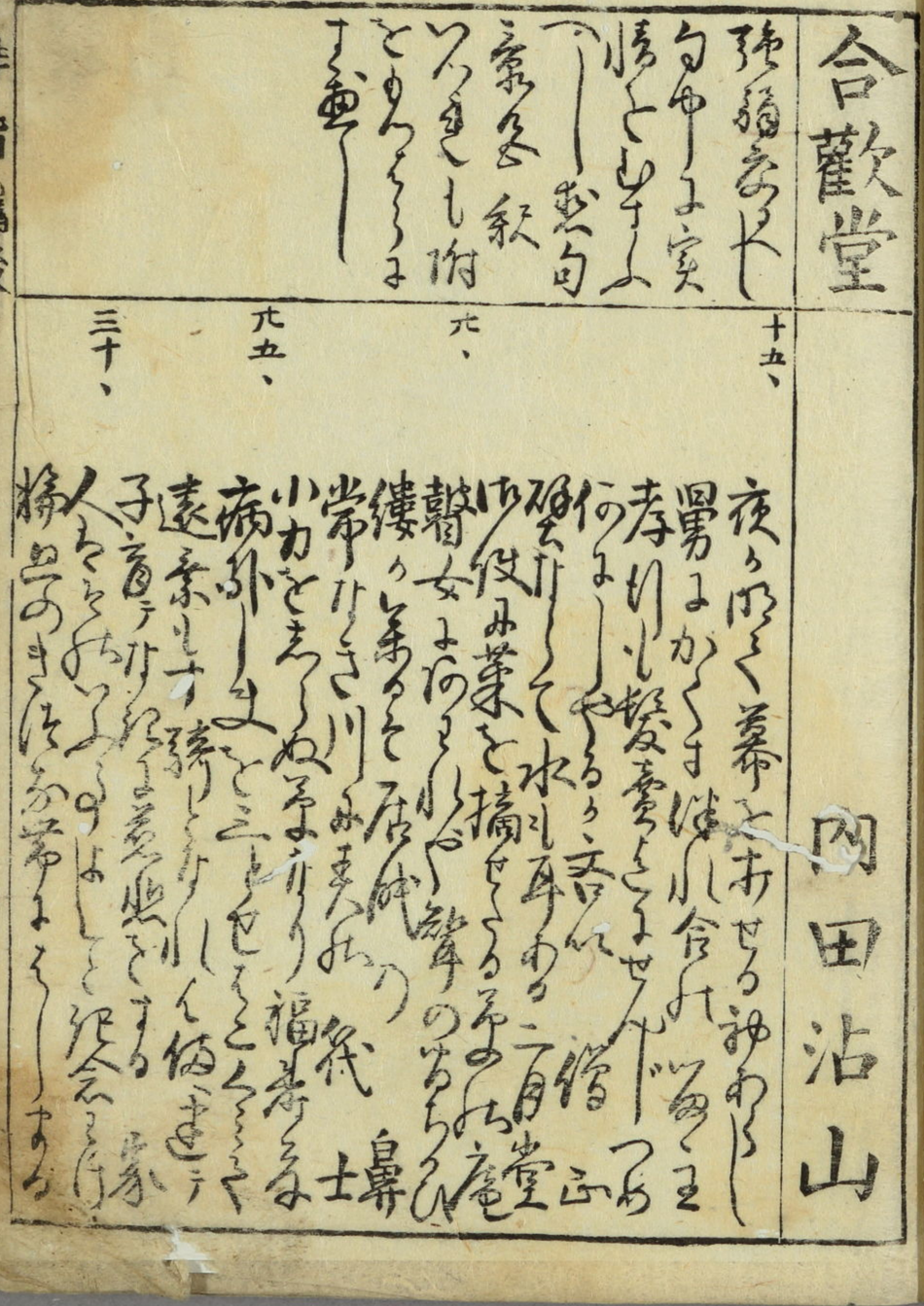
廿五、

[illegible]
[illegible]
[illegible]

長三點 朱五、 蘭齋清



合歡堂



岡田沾山

長三點

一雪　五、

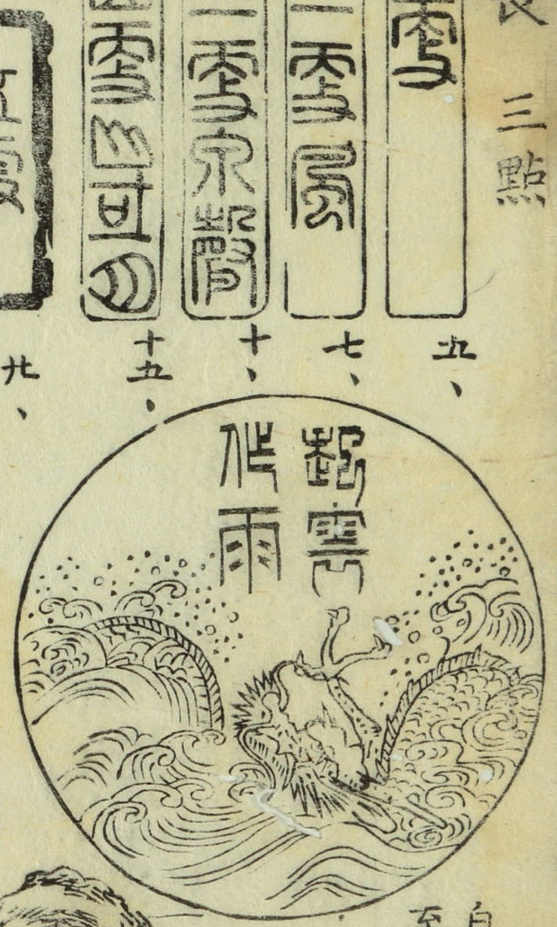
二雪扇　七、

三雪京鬘　十、

四雪四百四　十五、

五雪　九、

六雪四三



九五、

自三十、至五十、

殘毫二長ハ

沾山

梯下菴

一孫わらべ　十五ヨリ十七ニテ

恩愛の句

ゝ絡し

秋や寄

の句梯和

神祇ホの

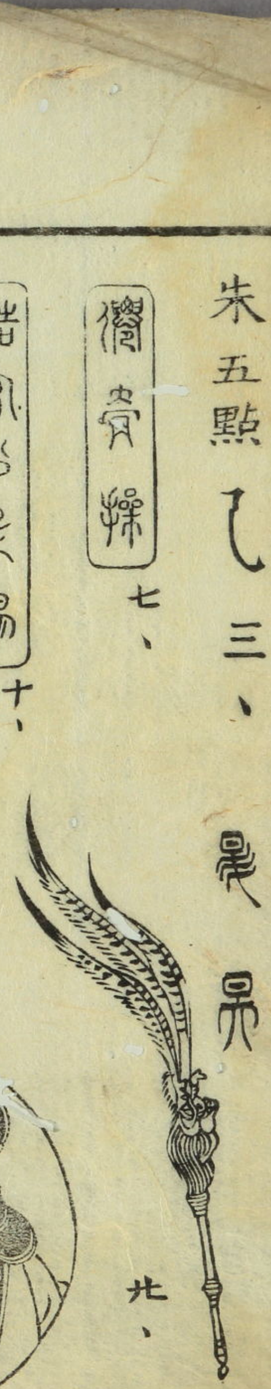
白をまゝしい

ゝ付之

九、

蜻蛉ハ人界ハ人界ハ人界

朱五點 三、



七、

十、

十五、

三、倍

北、

北五、

啼花園

一、神わらべ多り恩愛の旬別るゝ子ゝ多り京ゝ多ゝ多ゝ

十、

十五、

式八条の邪社仏閣地名むつかしゝとゝ

北、

北五、

垣紫鳳

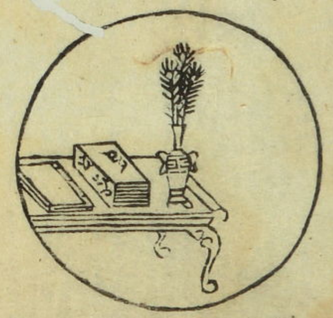
一、瀬ゝ多ゝ多ゝ四条ゝ多ゝ書ゝ評ゝ式ゝ恩愛ゝ多ゝ貴ゝ女ゝ乳ゝ見ゝ立ゝ舟ゝ尾ゝ黄ゝ乃ゝ稱ゝ系ゝ二ゝ日ゝ生ゝ産ゝ入ゝ孫ゝ天ゝ地ゝ源ゝ八ゝ名ゝ仏ゝ百ゝ一ゝ性ゝ光ゝ眼ゝ色ゝ多ゝ風ゝ子ゝ風ゝ子ゝ子ゝ猫ゝ紫ゝ仏ゝ志ゝ表ゝ紙ゝ黄ゝ紙ゝ追ゝ風ゝ表ゝ子ゝ京ゝ陸ゝ大ゝ寺ゝ夏ゝ乃ゝ山ゝ海ゝ子ゝ宝ゝ屋ゝ子ゝ

長三點　朱五、　廿、

蔵腰帖　七、　帖取

枕上帖紙　十、

當帖　加十五、　角清隙　廿五、



三十點八金泥ヲ以テ書ク

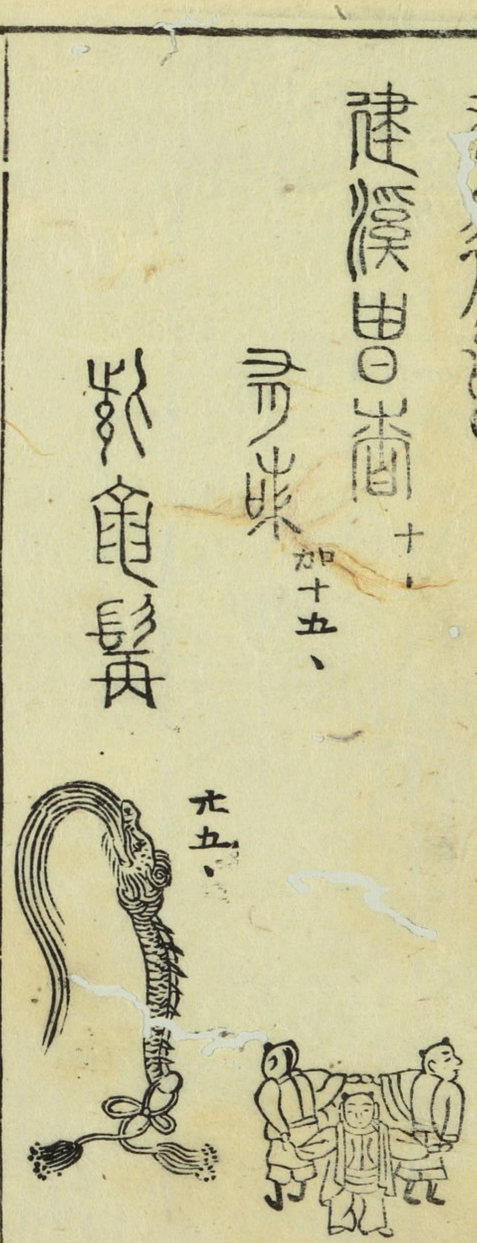
詩歌解釋

六花坊　十五、

村松子鷹　廿五、

詩歌解釋

圖二點　長三、朱五、



六芝房

古墳菴　越谷吾山

孤狗鼻息　孤狗の流れ　提て　鱞　安大人の　大般若　夜明　年号　尾庭　這つる　馬じさく　庵主の宋和尚　念仏　子　扶く大坂へ　天く　鳴ハ　根屋の　ハ淑の牛　田舎　田舎

圈二點長三、朱五、

[illegible] 七、 [illegible]

[illegible] 十、

[illegible]

加十五、

上ニ雀ヲ打テ 北九、

北、

右 弄花枝

吾山

位帙

[illegible]

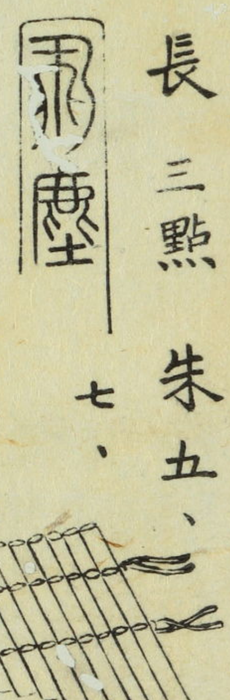
[illegible]

又恵の二句

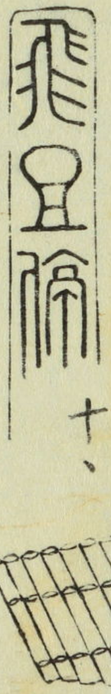
[illegible]

島田朴路

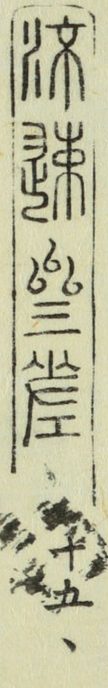
長 三點 朱五、



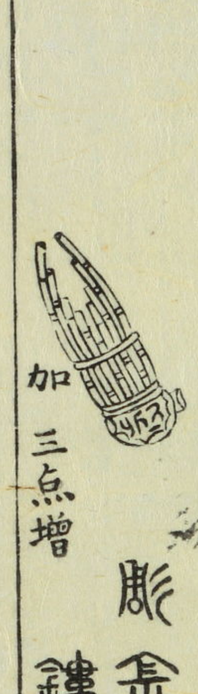
七、



十、



十五、



加 三点增

瑤簡 九、

雜合皆佳

長崎

彫金 鐫妙

三十、

圓藏 韓石

九五、

強弱ほ

十、

十五、

十八、

九、

九五、

長三点　朱五、

廣種七、

毒虫纏等蛭十、

歌麿十六、

十八、

九、

二十五、

仏花房

一神はまき方なり

軍中の白ふしよろし

歌の句を付る中へ

色しるしとゝ合べし

十九、

女童のなりとおもひ大伽藍

を思ひ出し紙切る丑松なるみ歯ぬけ

唐紙の子の所ゟ

移

妻物ぬ

猫ま

捕

茶

別

化

恰

二三

十八、

九、

九五、

岡村石鯨

長三點朱

五、親門七、

十五、

三点増

廿、

廿五、カタ印廿点ニ同シ

三十、

鳳五十点

西峡菴

和の句より奇麗よ仕立しく食類の句ここに点あり

雨舍　碁

温泉場　船

帆

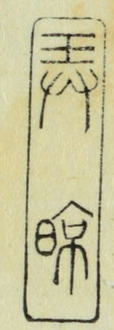
松てゑ辺の句より釈病所もよしく

天西

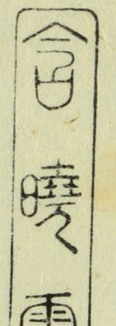
中村社麥

京師の橋船と称く川為所の名紙と碁筒の桃代桃例へ出て中て第る火鼎一の火振袖よあつい茶碗を示せて飲む元祐の女て用をいひのこし温泉て毒ある人の形よ舎ら火をいとくの名き衣大根の辛い味ふよ神奈奥絞の名紙のあぬ屋中名ハ急千出て塔のある寺秤千きめる陶女ら帯彫ものと碁盤のかきす三里吳山の立ちなこ出て売蝋釣上ることハ猪ら〳〵ぬ猪の子

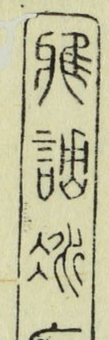
長三点朱五、



七、



十、



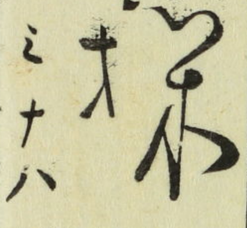
十五、

六、

福知而上
糊雙品

十二、加印

十五、



社参

三十八匁十

年時菴

強弱あるも不言点の点時々点句ふ点拍あり点京務客を地名より

駅連尺

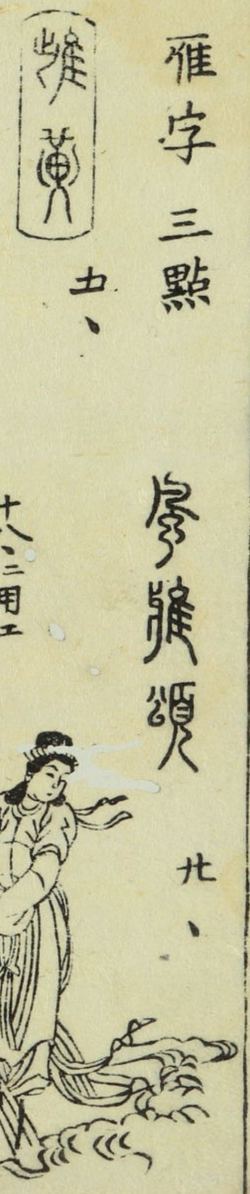
色々に活衣を拵る云名分之仕よりほとけ様の御手本なる京麸の利と姫子姫の人の作神代より京一番の活び賢宇桂屋和ら[illegible]去て頃惟古大[illegible]を服のうち物を拵巴じ[illegible]車歩行れて[illegible]ある女駕物[illegible]少よ物造へと妹り舟用[illegible]蓋只る女、主恨[illegible]れて初きもの[illegible]死の死墓りめるとと逸る女房乳[illegible]先へ[illegible]を出る毒[illegible]と脚る踊るの供

繡屏 五文 長三文
巣鶏籠 七文
瑠璃燈籠 十文
幽霊山鎧 十五文
加印 三文 善機錦 九文

津婦人

津下犬養

雅字三點



十八、二用工

人物 九点二同

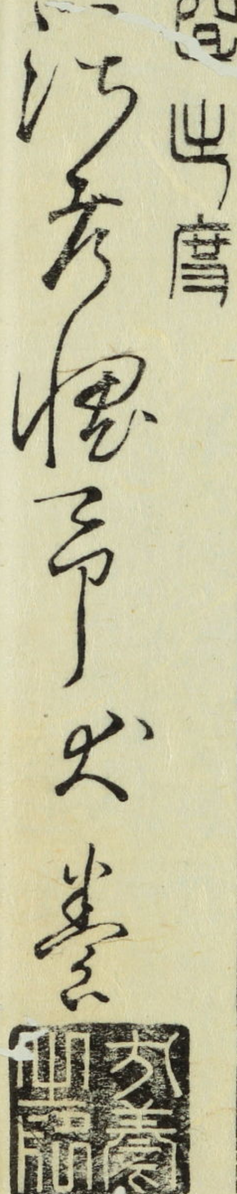
加十五、

十、

九、

七、

五、



文庫

黒釜菴

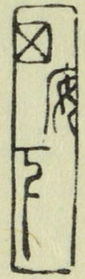
田口芳竹

強弱交ゝ
哀の句芝居
哭々の句よ
もうつ
ちく考
面しかと
もわるべし

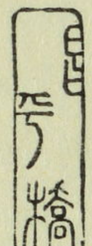
十九、

本食より又と女房の兼相
居淺へ笑ふより忠義者
娘ゝもそなたとなりて人の代
嫁の土産てえ久る
入歳くづ〳〵くりくり
侍の家てハ上る
白い嵐か出ても稼多
子と俗て罷俗
ちと空と結ひ
空と結ひ
俳諧の笠立円俗の側より火お箱
庶上下のすゝて
女房よ臺と行くて結金
代人ハ舟てゆく

長　三點　朱五、

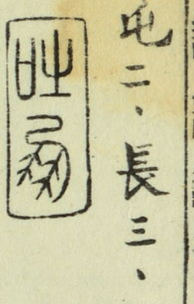


七、



十、

屯二、長三、朱五、



七、

十、

十五、

十五、加印

十八、

二十、

二十、加印

二十五、

梅林菴

足高五連

弱弱なりし
洋紙各面の
匂よし

玄のふ仰り
やうあり一ぬき
ぬいく仰べし
を未若のなし
とつる汐よし
蒼紙色の出
匂よろ抑して
仰べし

教入こ芝居をかるそれ人勢
二百上り桜さく伊人
煙掃よ陽小桜さく部分
霞見乃隋戸は越後屋の傘桜
爰芝色のやは越のくり
三井の七ふよ女掃
旅しく仰べ京にもち
りしよ乃娘芝を末小
ちの卵仰しる縁沈
結ひまつと加茂乃手まい
いろなよ低くろ毛
なりなよ文し史の兵とる
ぬよ末る沈こ
茅る沈こ
手をし引奉ふこ伊勢の仲利生

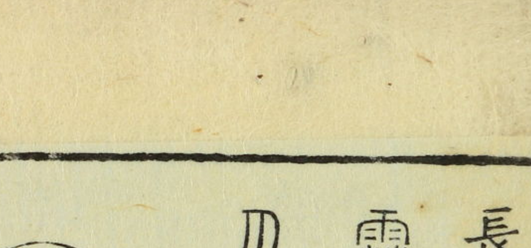
長三點 朱五、

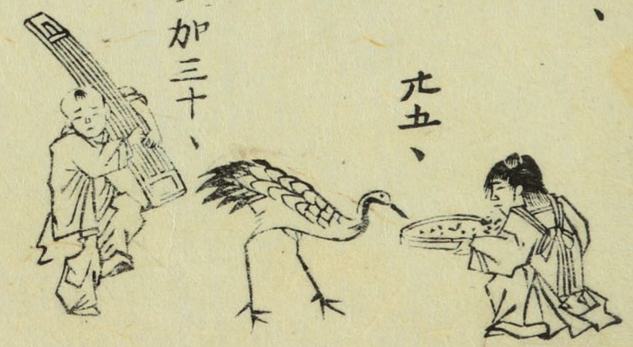
雙 茶 聲七、

刀 ㇇ 出 羊 飛十、

粉 妝 加十五、

三点増





九、

加三十、

九五、

宮内省図書寮

嘉永庚戌 春 江戸 須原屋茂兵衛

萬歳洞

弥勒菩薩一所浮きまして
大伽藍時天淵
神祇恩電の間
女と子と娶
りて忘角句
中とすること
枕子の機嫌
よくなりぬ
日光松島
奥の名所迄
アラウよし

十五、

上ミ下て遊ける
大力と笑て女房も
以生男子母
変
家内
蓮の
相
大振
振袖の
主鈴牛より
舟
女
生
江戸
人

十八、

八、

九五、

小菅寶馬

長三點 朱五、七、三、倍

君 十、 十五、 九、 九五、

甲 乙 丙 丁

一陽井

句作いろく
あり先きの
方よ
元原と物を
やすくする佳
ぞ
蒼孤点の
気味大き
よ

谷 素外

なるべし陽子ろ〳〵素論ようまるをるを
主従の禮義系乃毋ようろは士
ひ〳〵歩む情氣し秋まの判しお
赤馬ヨ人形町の去 京 系 結び 多
うく森の敬をく〳〵 晴 元
加賀の味下を通る
下女ろ〳〵ろる 干大根 賣
馬ろ〳〵ろ〳〵 洗とる 結ん
交り雲のとし 大郎 産
けるし肉の 小庄 頭
紫女ユ乃毋る 蘭の 抱
肉屋、赤 女 侍 参 米
何 也 仕 也 ヒ

圈二點長三、朱五、

物皆聲 七、

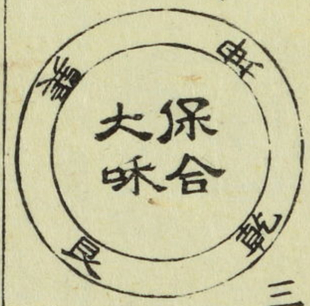
瀟元 九、

雲於雨施 十、

白雪 九五、

發秀 加十五、

三点增



三十、

五十点

萬歲〻萬〻歲

五千堂傳印

一派是と借用

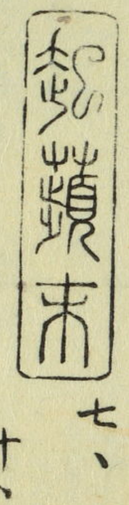
姘齋

弱冠文名
[illegible]
[illegible]
素外
[illegible]
[illegible]
[illegible]

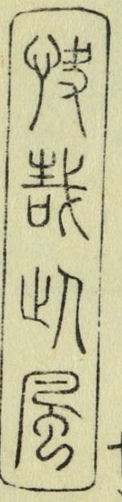
島津富

紋鞦韆紙帳
放下の切よ
三絃
眠京
[illegible]
[illegible]
[illegible]

長三點 朱五、

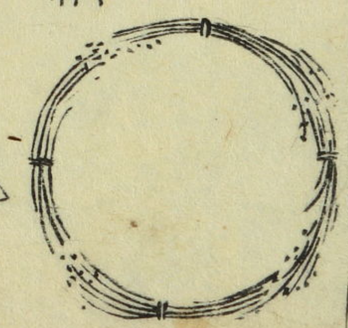


七、

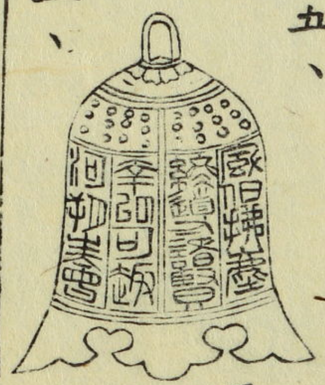


十、

菊夢 九、



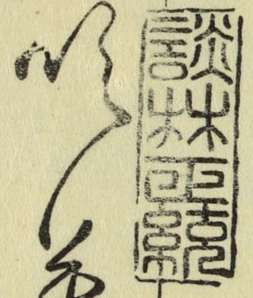
天鼎氣精 加九五、



三十、

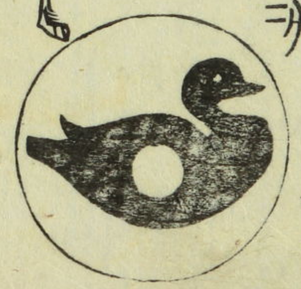
珠 倍 三、

披襟 加十五、

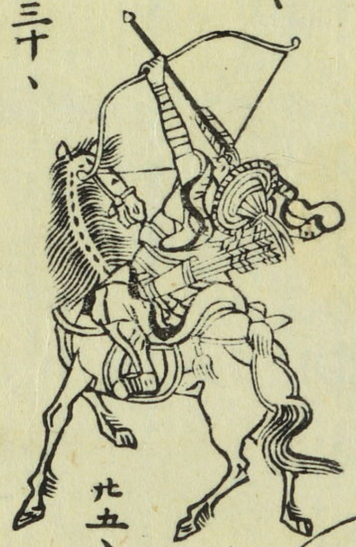


圈二點 長三、朱五、點點星亦 百卉所

三点倍



北、



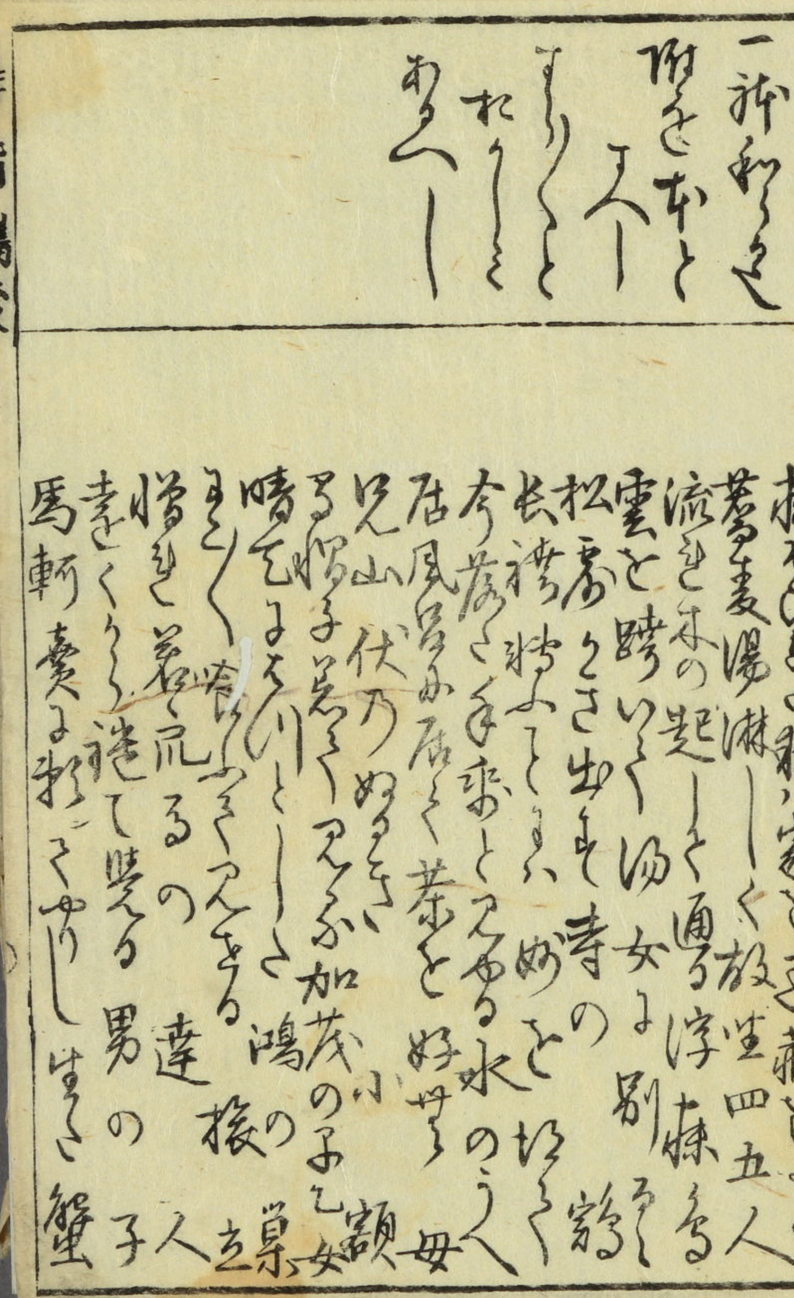
北五、

嘉儀 加十五、

百步穿楊葉
三箭定天山 加三十、

霽月菴

岸田爸梁



長三點　加朱五、

玉鏡臺　七、

南樓清嘯　十、

流光　加十五、

十五点ニ加ヘテ十八、

機霜　北、

北五、北点

賛語ヲ加

形象云漢

世俗漢書

長白亭

強弱あるべし

上方の地名

うさひ庶を

古おどり

よろし

所をこそ結拠

て高点

あり

機　乙雄

入唐の出使不忘七四乃花

夜陰雪と紫燭眼　見る

聖の宮中百て庶り　百の詩

ありけ紫より　燈の

いつしのよ似るも可　ものさ高京の子

豆一刻乃蟹も　陰る　雨

ものし火の中より四宗の夏々又

岩おか焼ていり切ある　除夜

夏の付てよい色より重又ものさ　宇

挟ていりれ赤てもよい　漢

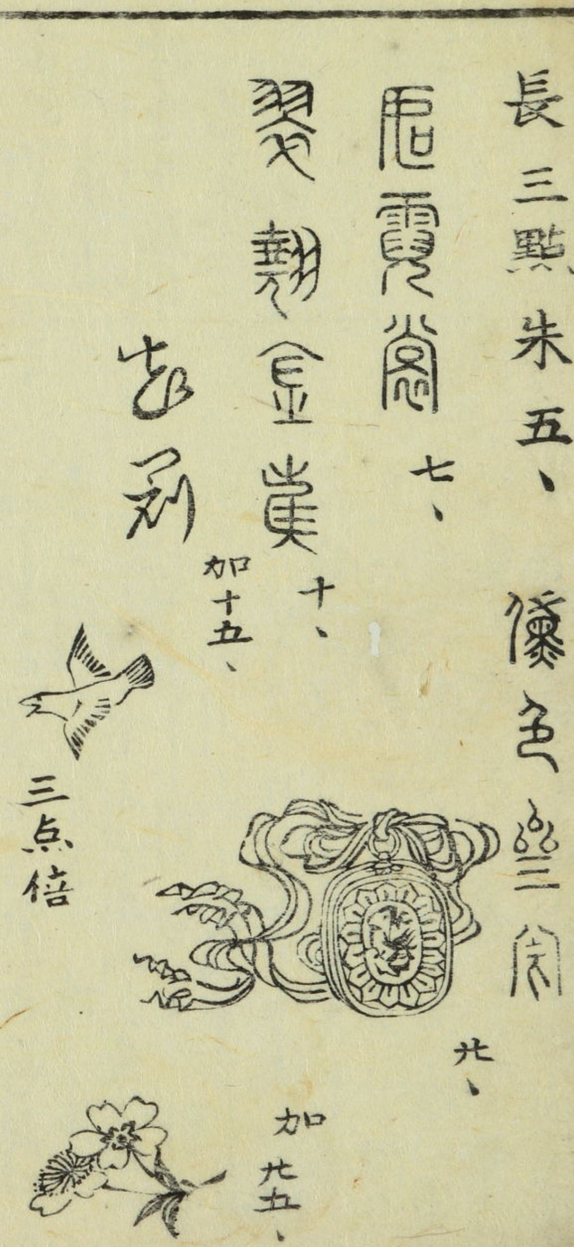
大晦日只一日の名てハなし

高ひもみるまてハ聲　ありて

あの魚叫んて庶る　聖の宮

稲素ら踊ら　通るさくやそ

ありて　茂乃禍　法むし

義

長三點、朱五、